

3. 生涯現役社会づくり

誰もが活躍できる生涯現役社会の実現

高齢者や障害者などの一般就労

- 企業の人材不足は深刻化
⇒有効求人倍率:全国1.63倍、岡山2.19倍(H30.7月時点)
- 企業の高齢者、障害者への採用意欲は低調
⇒採用意欲が「低い」または「非常に低い」:65~74歳で75%、75歳以上で86%、障害者68% (H30岡山市アンケート)
- 採用意欲が低い理由は「健康上の配慮」「どのような仕事が任せられるかイメージできない」など
- 旧事業(生涯現役社会づくり事業:生涯現役応援センター)では、高齢者の就労ニーズに対し約7割が活動に結びついていなかった

- 働きやすい職場づくりのための企業理解の促進
- 多様な人材に応じた最適なマッチング

要介護者のいきがづくり

- 岡山市では特区によるデイサービス改善インセンティブ事業など状態改善の取組を推進。
- 高齢者が自立を支援するためには、ただ介護をするだけでなく高齢者の能力を生かしていくことが求められる。
- そういった中、利用者に対して独自に就労や社会参加の取組を実施し、いきがいに繋げているデイサービス事業所などがある。
例:事業所併設のパン屋で職員と一緒にパンを販売、畑や加工場に移動して農作業や加工を実施

- 就労・社会参加を採り入れた新たな介護サービスの創出

高齢者や課題を抱えた人など誰もが地域や社会で役割を持って活躍できる社会の実現

多様な人材の就労促進

- SIBを活用した生涯活躍就労支援事業**
- 高齢者やがん・難病患者など多様な人材に対して一人一人の状態に応じた丁寧なマッチングを実施
- 誰もが働きやすい職場づくりの実現(企業理解の促進)

ボランティア等社会参加の促進

- 令和2年度以降、登録者を拡大して実施するSIBを活用した生涯活躍就労支援事業において、引き続き社会参加の促進とマッチングを実施

介護保険 就労型サービスの創設

高齢者の活躍推進事業

- 介護が必要になっても特性や能力を活かした就労・社会参加支援
⇒介護サービスの中での就労・社会参加活動の提供

SIBを活用した生涯活躍就労支援事業

背景

- 人口減少と超高齢化の進展によって、地域活動の担い手や企業等における労働者が不足している。
- 従来の「生涯現役応援センター」では、高齢者の就労ニーズに対して約7割が活動に結びついていなかった。
- 幅広い世代の生活困窮者に対する、日常生活自立、社会生活自立、就労自立を目指す「寄り添いサポート」センターを設置している。高齢化の進展により、高齢者への自立相談支援ニーズが高まっている。

課題

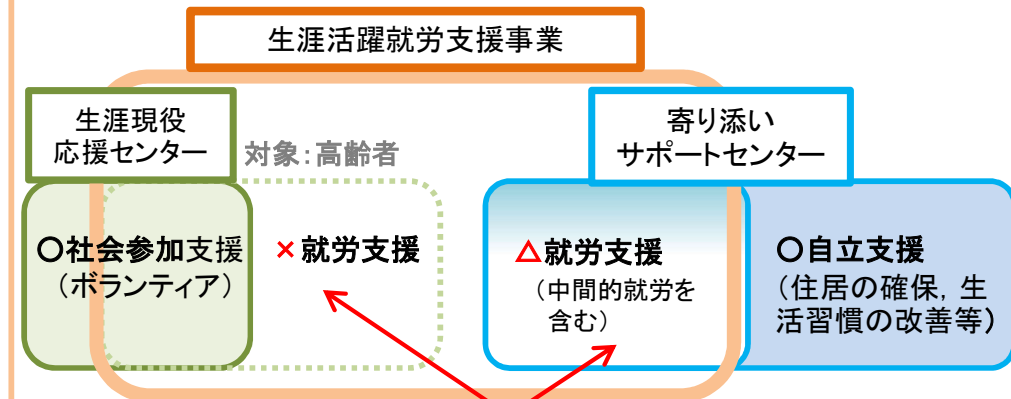
- 多様な人材の就労支援のためには、状態に応じたより丁寧なマッチング支援が必要。
- 中小企業等の意識改革、高齢者をはじめとした多様な人材が就労できる職場環境の整備が必要。
- 生涯現役応援センター、寄り添いサポートとも一定程度の連携状況はあるものの、より明確な対象者像と連携ルールが必要。

事業内容等

- 事業目的
高齢者や課題を抱えた人など誰もが地域や社会で役割を持って活躍できる“生涯現役社会”の実現
- 事業内容
民間就労支援機関、社会福祉協議会、NPO等を通じて高齢者等の就労等の支援を行う。
就労支援機関は、就労希望者の経歴や労働条件の調整等により就労に結びつけ、社会福祉協議会やNPOは、生活の立直し支援と就労支援をセットで行う。
雇用先企業等に対しては、高齢者等の雇用に関する意識改革や労働条件の見直しを求めていく。
- 期待される効果
 - ・働きやすい職場づくりのための企業理解の促進
 - ・多様な人材に応じた最適なマッチング
 - ・社協内での事業間連携の強化

事業充実・事業間連携のイメージ

昨年度までは、生涯現役応援センターと寄り添いサポートセンター、それぞれに共通する課題として、就労支援があったが、新事業を始めることで、高齢者部分から、徐々に就労支援を強化していくこととする。



この部分を充実させていく必要がある。

SIBを活用した生涯活躍就労支援事業

準備・実施の状況

平成30年度

- ・ 7月 中小企業の高齢者雇用に関する意識調査(アンケート)を実施。
- ・ 3月 中小企業向けの高齢者雇用促進セミナーを実施。

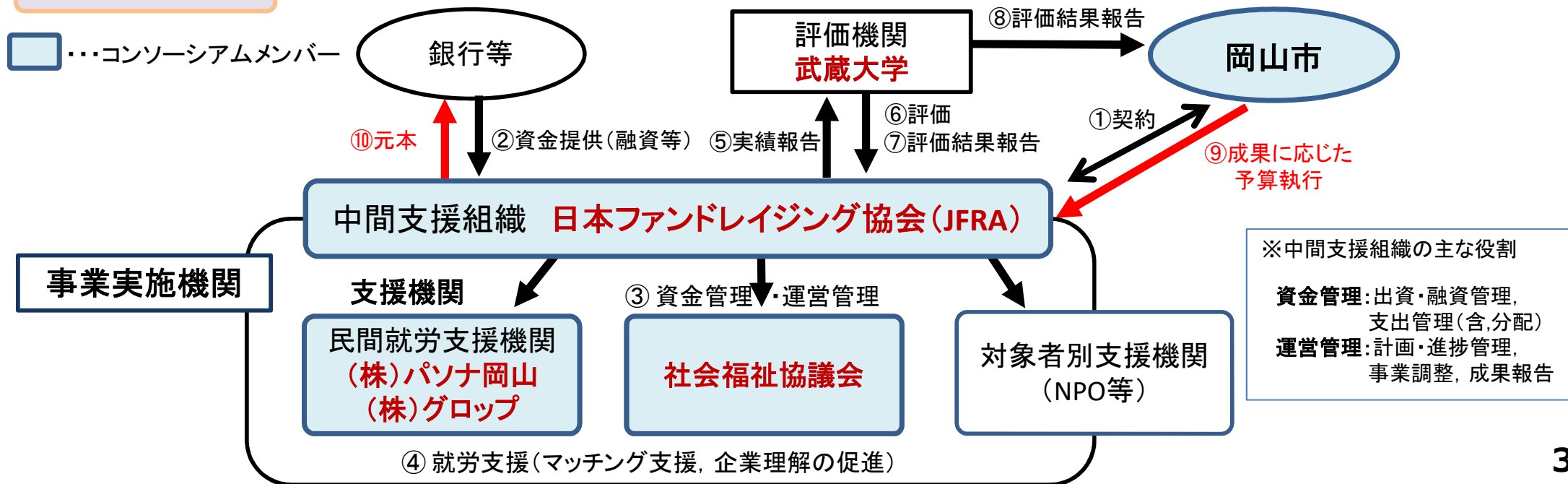
令和元年度

- ・ 従来の生涯現役応援センター(社協)がボランティア活動の希望者を中心にマッチング支援を実施(7月末までで事業終了)。
- ・ 8月～ 生涯現役応援センター(登録者:約400名, 登録企業:約200社)を引き継ぎ、新事業として事業開始。社協が支援を継続。
- ・ 9月～ コンソーシアム(JFRA, 社協, パソナ岡山, グロップ)内で、新スキーム(事業運営ルール詳細や共通様式など)を調整。
- ・ 10月～ 社協+パソナ岡山+グロップによる新体制・新スキームによるマッチング支援を開始。

令和2年度

- ・ 4月～ 登録者と企業との交流事業などを通じて登録者を拡大していく。

事業実施体制



在宅介護総合特区 高齢者の活躍推進事業

事業の狙い・意義

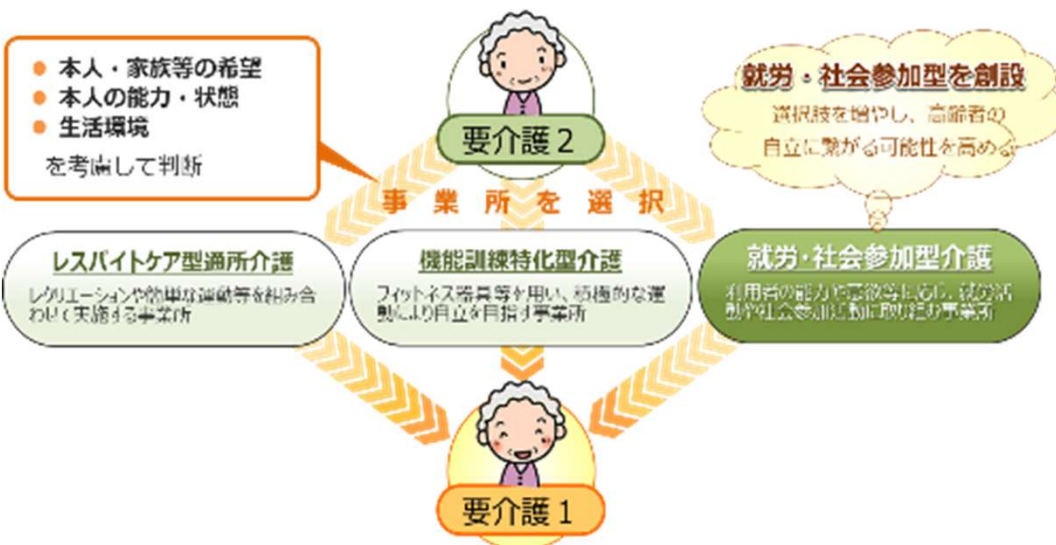
介護保険においては、高齢者の能力を活かし、自立を支援する制度が求められている。

そういった中、介護給付費分科会において「自立の概念については、身体的な状態の改善だけではなく活動・参加等も考慮に入れる必要がある」とされており、高齢者の身体状態の改善だけでなく、就労等によって社会参加し、自らの能力を活かして活躍する場を提供していかなければならない。

現在の介護保険制度には就労による高齢者の自立を促す仕組みが無いため、これを実現することを目的としている。

背景とイメージ

- 就労を希望する高齢者の需要に対し、供給は十分でない。
特に、要介護高齢者はお世話を受ける対象とされ、就労・社会参加活動を行うことは想定されていない。
- 高齢者の自立に向けた新たな選択肢として、高齢者に就労・社会参加活動を提供できる事業所を創設する。



事業詳細

○現時点で、事業を構成する要素は主に以下の3つ

①市内事業所への普及啓発

事業趣旨を正しく理解した上で利用者に提供できるよう、説明会やワークショップにて、取組趣旨の説明、先進事例等を元にした実施方法の検討、現実的な課題の抽出を行う。

②コーディネーターの配置

事業所と企業を結び付けるコーディネーターを配置し、地域全体として調整しながらの推進を目指す。

③厚生労働省・有識者等との協議

事業所・企業・行政が共通認識を持って就労等を推進出来るよう、制度の改正、基準の明確化、金銭的支援の実現等に向けて、厚生労働省等と協議していく。

<参考>

老健事業による、就労・社会参加活動の調査研究に参加している

○平成30年度 調査研究内容

- ・実態整理と、障害要因の明確化
- ・評価モデルの構築
- ・利用者に応じた社会参加のための研修プロトタイプ開発

○令和元年度 調査研究内容

- ・入所施設を含めた事例調査
- ・利用者にとっての効果
- ・事業所以外での就労等機会の社会的価値

4. 地域づくり

1. 支え合いの地域づくりの実現に向けて

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護サービスのみならず、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化が必要。

その為、支え合いの地域づくりを進める地域ごとの会議体である地域支え合い推進会議（協議体）を設置し、地域住民と生活支援サービスを担う事業主体と連携し、支援体制や支え合い活動の創設・強化を図る。

また、活動を通じて高齢者の社会参加を促し、介護予防にもつなげる。

その実現に向けて、無理ない範囲で取り組みながら、その地域ならではの支え合いや助け合いを推進していく。

2. 岡山市支え合い推進員の配置

岡山市支え合い推進員は、岡山市が定める活動区域（第1層と第2層）ごとに配置する。既存の取組・組織等も活用しながら、資源開発、関係者のネットワーク化、地域の支援ニーズとサービス提供主体のマッチング等のコーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進する。

【役割】

- 生活支援の担い手の養成、サービスの開発等の資源開発……第1層、第2層岡山市支え合い推進員
- サービス提供主体等の関係者のネットワーク構築……第1層、第2層岡山市支え合い推進員
- 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング……第2層岡山市支え合い推進員

【配置状況】

- 第1層岡山市支え合い推進員（福市区）

H27～H28年度	1名配置
H29年度	3名配置
H30～R1年度	6名配置
- 第2層岡山市支え合い推進員（中学校区）

H30～R1年度	地域づくり支援ネットワークを仮配置
R2年度以降	日常生活圏域ごとに正式配置を目指す

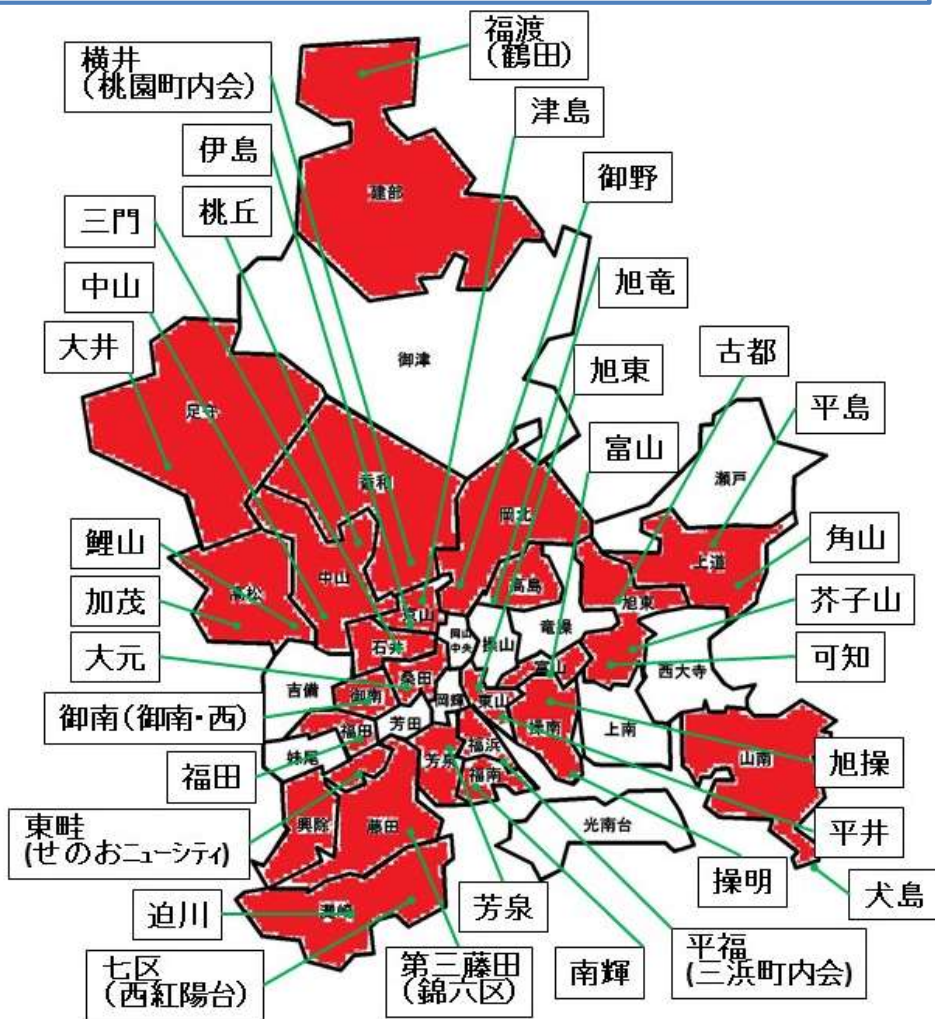
3. 地域支え合い推進会議（協議体）の設置

○地域支え合い推進会議（協議体）設置状況

H27年度2か所→H28年度4か所→H29年度6か所→H30年度26か所→R1年度34か所（9月末時点）設置

地域支え合い推進会議(協議体)の設置地区及び支え合い活動を行っている地区(令和元年9月末)

地域支え合い推進会議(協議体)設置地区



主な支え合い活動

富山 (小地域ケア会議)

- ・福祉委員・援護委員による見守り活動
- ・生活支援サービス「とみやま助け合い隊」(草取り、ごみ出し、付き添い等)

迫川 (小地域ケア会議)

- ・生活交通を考える会(ブンタク) 毎月開催
- ・地区資源(支え合い活動)の把握
- ・介護事業所を加えて、地域の困りごと情報の収集
- ・生活支援サービス「おせっかい」(草取り、ごみ出し等)

平井 (平井学区地域づくり会議)

- * 認知症カフェ
- ・オレンジカフェひらい
- ・健康教室(認知症テーマ)を大学等と年2回協働開催

地域支え合い推進会議(協議体)は、日常生活圏域(36中学校区)に設置し、地縁組織等と協力して活動の創出や運営を支援していく。

9月末現在、24中学校区に、地域支え合い推進会議(協議体)を設置済み。

また、小中学校区単位で地域づくりに携わる行政部署・関係機関が連携して支えるチームである地域づくり支援ネットワークでは、引き続き地域づくり戦略会議を定期的を開催しながら顔が見える関係づくりを継続していく。

『支え合いの地域づくり』 地域の皆さんと一緒に取り組みます！

地域づくりの専門職！

各福祉区に1人います！



<p>中区</p> <p>木村 永魚子</p> <p>中区保健所 ☎238-0200 中区福祉センター</p>	<p>北区北</p> <p>藤村 京政</p> <p>北区北保健所 ☎250-2007 北地区交流センター</p>	<p>北区中央</p> <p>堀田 希美</p> <p>北区中央保健所 ☎272-8619 保健福祉センター</p>	<p>東区</p> <p>十井 素子</p> <p>東区保健所 ☎942-3260 東区福祉センター</p>	<p>南区南</p> <p>新井 和哉子</p> <p>南区南保健所 ☎263-0012 南区交流センター</p>	<p>南区西</p> <p>川口 海</p> <p>南区西保健所 ☎281-0027 南区福祉センター</p>
--	--	---	---	--	--

『地域支え合い推進員』

小学校区毎にチームがあります！

岡山市ふれあい介護予防センター 吉田です
岡山市支え合い推進員 藤村です
社会福祉協議会 江島です
神高公民館 市民協働企画総務課 井川です
北区北保健センター 能勢です 井上です
柴田です 山本です

詳細は裏面をご覧ください！

私たち **GOGO津高** です!! よろしくお願ひします

地域づくりのサポートチーム

地域づくりのために、この機関はつながっています。

どこの窓口からでもお気軽にお声かけください。

地域づくりの勉強会の開催・講師の手配



地区での勉強会

担い手の養成やマッチングを行います！

働きたい ボランティア 社会参加 生きがい 自分探し

シニアのみなさまを応援します!

生涯現役応援センター

活動事例(ボランティア)

<p>高齢者施設</p> <p>庭木の剪定 定期的な活動のおかげで生活リズムを保っています。</p>	<p>保育園</p> <p>子どもとのふれあい 活動は月1回ですが、次は何をしようかと考えるのが楽しみです。</p>
---	---

《事例》
(せのおニューシティ老人会)

快護楽生会について

2015年秋
「高齢になっても笑顔で暮らしたい」という思いで、「快護楽生会」の準備会が、2016年1月～2月、西谷公民館センターで実施された。『生活支援サポーター養成講座』を3人が受講。2016年4月～『はなみずき会』-「快護楽生会」が活動開始。

会の目標
『高齢者が安心して楽しく暮らせる街づくり』

会の目的
① 仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しさを体験すること。
② その知識や経験をもち、地域を豊かにする社会活動に参加すること。
③ 安心・信頼な社会づくり、若介護士になって在宅介護の地域で暮らすことができること。

快護楽生会

生活支援サポーター養成講座

小中学校区レベルでの地域づくり支援ネット（例：芳泉）

地域づくりのネットワークにより、小中学校レベルでの総合相談体制づくりも進んでいる。

地域づくり支援ネット

高齢者の暮らしのわ

岡山市支え合い推進員

(岡山市より岡山市社会福祉協議会が委託)

地域での支え合い活動をつくるサポートをしています。

岡山市南区福田 690-1
南ふれあいセンター1階
☎086-263-0012 (酒井)

支え合いのわ

みんなのわ!!

～地域に支え合いの花を咲かせましょう～

地域包括支援センター

高齢者や家族の総合相談窓口です。

岡山市南区福田 690-1
南ふれあいセンター2階
☎086-261-7301 (藤原、野口)

みんながつながりあえる
地域を目指して!

集いのわ

社会福祉協議会

地域の方々とともに、「福祉のまちづくり」を目指して、活動を行っています。

岡山市南区福田 690-1
南ふれあいセンター1階
☎086-263-0012 (谷本)

福祉のわ

南公民館

市民協働企画総務課

地域活動の支援や、集い学ぶ場を提供し、一人ひとりの生きがいを応援します。

岡山市南区芳泉 3-2-2
☎086-263-7919 (小林、岩谷)

岡山市

ふれあい介護予防センター

住み慣れた地域で
いつまでも笑顔で！元気に！
皆様の介護予防を支援します!!

岡山市南区福田 690-1
南ふれあいセンター2階
☎086-230-0315 (松川、橋本)



私たちがつながっています♪
とこの窓口からでも
お気軽にお声かけください!

アクティブシニアのわ

健康のわ

保健センター

赤ちゃんから高齢者まで地域の人の健康づくりを応援します。

岡山市南区福田 690-1
南ふれあいセンター2階
☎086-261-7051
(住藤、安部、田中)

公民館と連携した高齢者の健康寿命延伸や地域支え合いの推進

R.1. 10
自治体優良事例として
厚生労働省提出

公民館職員と支え合い推進員(生活支援コーディネーター)が連携し、地域支え合い活動を協働でコーディネート

取組の概要

- 岡山市では公民館がESD（持続可能な開発のための教育）や市民と協働した取組を推進し、**地域づくりの拠点の一つとして重要な役割を担うとともに、公民館職員は様々な団体と連携しながら、地域課題解決のための学びや地域づくりを支援。**
- このため、支え合い推進員が活動するにあたって、**公民館をはじめとした関係課・関係機関の協議の場を全庁、地域単位でそれぞれ設け、これまでのノウハウや地域での人脈等を結集し、協働しながら戦略的に地域づくりを推進。**

取組における工夫・ポイント

- 保健福祉の上位計画である**地域共生社会推進計画と公民館基本方針において、それぞれ連携を位置づけ、地域づくりを推進。**
- 関係課・関係機関との連携会議を行うとともに、小・中学校地区レベルでは、公民館職員、保健福祉関係職員で構成する地域づくり支援ネットワークを立ち上げ、情報共有や今後の進め方を協議。**（概ね1カ月に1回開催）
- 支え合い推進員や公民館等が**一体的に動いていることを地域住民に伝え、地域住民の困り事相談や社会参加の場の創出を協働で実施。**

取組の成果

- 支え合い推進員や公民館職員等が連携して地域づくりを行うことで、**地域の困りごと解消や参加する高齢者の健康寿命延伸、孤立化防止に繋がる**とともに、地域の持続可能性が高まり、**SDGsの達成**にも寄与。

【とみやま助け合い隊の結成】

公民館職員、支え合い推進員、地域住民等が参加する「小地域ケア会議」で**地域ニーズを整理したことをきっかけに、地域住民が困りごとを支援する「とみやま助け合い隊」を結成。**
公民館職員が後方支援しながら、**地域住民が公民館でサポーター研修を開催し、担い手を育成。**

支援例：ゴミ出し、パソコンの設置・操作、草取り、病院等への付き添い等

【地域を支え合う協議体、チーム大元の結成】

公民館、支え合い推進員等が**チームで地域のキーパーソンとの関係づくりを行うことで、地域住民が主体的に支え合いを考える協議体を設置**

行政が一本化しており、本気度を感じた。住民もできることをしていきたい。



実施体制

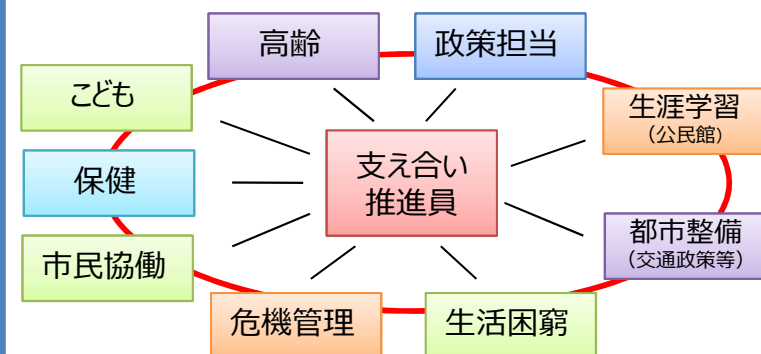
1. 計画レベルの連携(計画での位置付け)

地域共生社会推進計画
(地域福祉計画)
【保健福祉の上位計画】

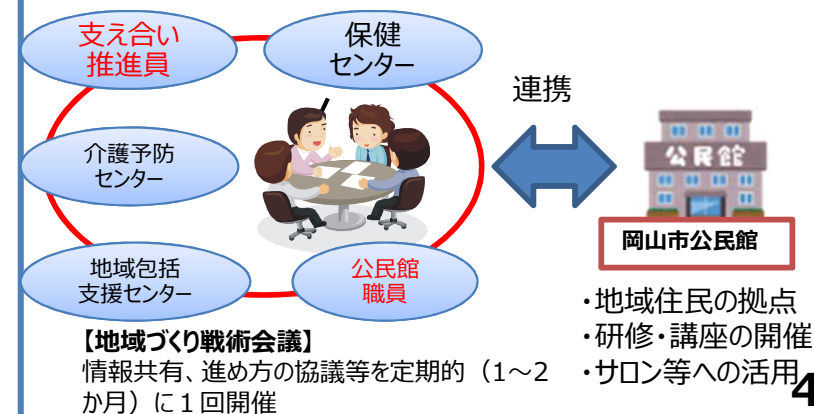
公民館基本方針
【2030年に向けた公民館の基本方針】

連携

2. 関係課・機関の長と担当者との連携会議



3. 現場レベルの連携(地域づくり支援ネットワークと公民館連携)



- ・地域住民の拠点
- ・研修・講座の開催
- ・サロン等への活用

5. 多様な主体の地域づくり

社会福祉法人の地域課題解決活動創出支援

進捗

個別支援

○東区を中心に計13施設を訪問。ヒアリングし、活動支援。
(北区中央3件、北区北2件、中区3件、東区5件)
○うち、具体的な活動に向けて動き出した施設 2件
【具体例】
・災害時の要配慮者向けタイムラインを町内会等と連携しながら施設が主体的に作成中

ネットワーク化支援(福社区単位)

○東区において第1回開催済(3月)
○東区第2回を年度内に実施予定

課題

活動の周知

何らかの活動を行っている法人も多いが、地域とのつながりが薄いため、参加者が少なく、固定化している。

具体化するノウハウ・情報がない

活動を検討しているが、具体化するにあたってのノウハウ・情報がない。

マンパワー不足

小規模法人で活動を行うにはマンパワー不足

今年度

9月11日に全体交流会(社協主催)をキックオフし、活動創出に向けて本格的な支援開始

1. **施設基礎情報シートの作成【各施設作成、社協とりまとめ】**
2. ⇒実施している地域活動、提供可能なスペース、法人のやる気度等を市内全施設調査
3. シートを元に地域に施設活動をPRし、施設の場所貸しなど、**地域と施設のマッチング実施【社協】**

来年度

○社会福祉協議会の地域支え合い推進員が、**各福社区でネットワーク会議を立ち上げ予定**
併せて、**意欲のある施設を個別訪問し、伴走型支援を実施し、地域活動を創出**
※市は関係各課で構成する「**地域課題解決活動支援チーム**」が引き続き社会福祉協議会を伴走型支援

多分野協働による地域課題解決活動創出支援

現状

(市民協働局・保健福祉局・教育委員会協働事業)

- 災害時での要配慮者への迅速な支援、1人暮らし高齢者、親亡き後の障害者等への支援には町内会・民生委員等による地域での支え合い(互助)が不可欠
- しかし、高齢化による担い手不足等により地域活動は活性化していない。
- 岡山市でも人口減少を迎える中、地域での孤立がますます加速する恐れがある。

問題

若者が少ない。

一方、町内会や福祉以外の分野(環境やまちづくりなど)では若者も活動に参画

組織が固定化。

地域ではこれまで関わりのない団体の参画がなかなか進まない。
町内会: 見知らぬ団体は入れたくない
民間団体: 町内会はハードルが高い など

活動の固定化。

表彰や事例発表会はあるが、他分野の団体と密に交流できる場がなく、情報が得られず活動固定化。

事業概要

- 環境、福祉、まちづくり、ESDなど様々な分野の活動団体を集め交流するプラットフォームを作り、異なる分野の活動の連携を促すことで、地域課題解決活動の創出に繋げる。
【異なる分野の連携の例】
 - ・川の掃除に発達障害者も参加する。(環境・福祉)
 - ・農業支援に若者が参加し、出会いの場となる(経済、社会)

具体的な内容

【今年度】※モデル的に運用

第1回交流会 (H31.3.19開催)
顔合わせ

第2回交流会 (R元.8.2開催)
興味がある団体同士の交流深化

第3回交流会 (R2.2月頃)
報告会

交流会参加団体

27団体

【子ども(1団体)】よつばの会

【福祉(7団体)】岡山市社会福祉協議会、社会福祉法人あすなろ福祉会、社会福祉法人報恩積善会、NPOはるそら、NPO法人杜の家、株式会社えくぼ、なかまちーズ

【就労(4団体)】就労移行支援センターフリーデザイン岡山、NPOワーカーズコープ、(株)ベネッセビジネスメイト、株式会社イケル

【商店街振興(1団体)】おかやま未来まちづくり(株)

【地域(6団体)】岡南公民館、岡輝公民館、東公民館あかれんがクラブ、大井地区連合町内会、三門学区地域のみんなでつながり隊、平井学区地域づくり会議

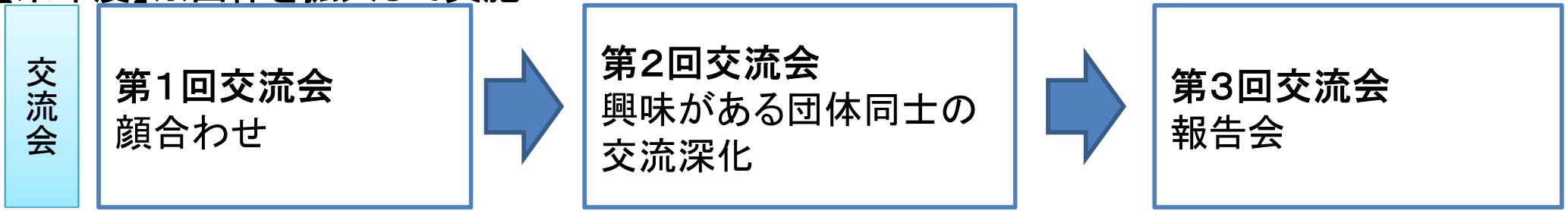
【環境(2団体)】(株)コンケン、NPOタブララサ

【ESD(2団体)】岡山市京山地区ESD推進協議会、岡山ユニセフ協会

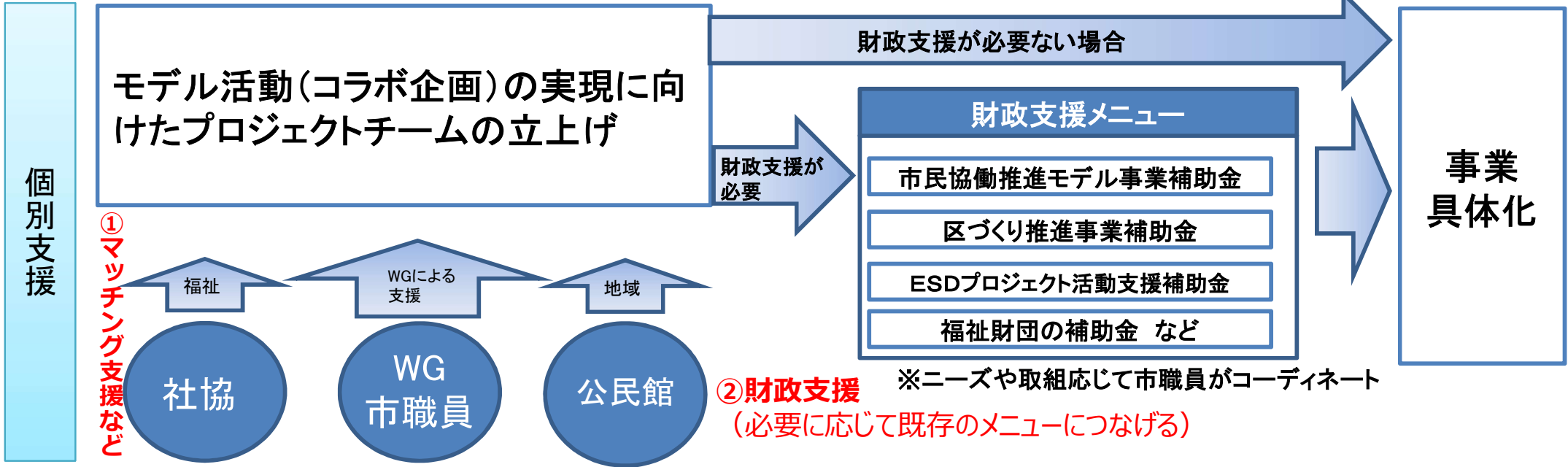
【食(3団体)】NPO日本モトシヨク、岡輝みんな食堂、DAGASHIで世界を笑顔にする会

【教育(1団体)】岡山市立後楽館高校

【来年度】※団体を拡大して実施



マッチングの可能性がある団体



事務局

※必要に応じて追加

- 市民協働局 (市民協働企画総務課、ESD推進課)
- 保健福祉局 (保健福祉企画総務課、福祉援護課、地域包括ケア推進課、障害福祉課)
- 教育委員会 (生涯学習課公民館振興室)

効果

人口減少下でも人と人との繋がりが、ふれあう持続可能な社会の構築(地域におけるSDGsの達成)